

日本語 (Japanese Language)

日本語 8 (Japanese Language 8)

(留(留))

三隅 友子・教授/国際センター

1 単位 後期 火 7・8

(平成 19 年度以前の授業科目:『日本語』) (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前)の授業科目:『日本語(2)』)

【授業の目的】 映画やテレビドラマの日本語を使って、社会人として必要な日本語の知識と能力を習得する。多文化理解の視点についても検証する。

【授業の概要】 日本における男女の役割、期待される行動や表現を考える。特に、漫画、映画、歌、CM 等のサブカルチャーを取り上げ「ジェンダー＝性」に対する考えを考察する。これらの生素材を日本語教材として「読む」「聞く」「話す」「書く」の力を伸ばす。

【キーワード】 ジェンダー、メディア、サブカルチャー、プレゼンテーション

【先行科目】 [先行科目]

【関連科目】 [関連科目]

【到達目標】

1. 大学で必要な読解能力を高め、語彙を増やす。
2. 様々な素材から日本語で情報を得る。
3. 自分の意見をまとめ、発表する力をつける。
4. 人の前でプレゼンテーションをする能力を伸ばす。

【授業の計画】

1. 自己紹介授業の概要について
2. ジェンダー論
3. 社会の中での男と女
4. 結婚と性別役割
5. 恋愛と結婚
6. 漫画の中のジェンダー①
7. 漫画の中のジェンダー②
8. 漫画の中のジェンダー③
9. ドラマや映画のジェンダー①
10. ドラマや映画のジェンダー②
11. ドラマや映画のジェンダー③
12. ドラマや映画のジェンダー④
13. 雑誌や広告のジェンダー①
14. 雑誌や広告のジェンダー②
15. 自分で見つける日本社会のジェンダー調査報告会

16. まとめ総括授業

【教科書】 無

【参考書等】 適宜プリント等の資料を配布します。

【成績評価の方法】 授業への取り組み、プレゼンテーションやマニュアル作りなどの課題をもとに、総合的に評価する。

【再試験の有無】 無

【受講へのメッセージ】 10月時点で、受講生の日本語レベルに応じて内容を変更することがあります。教室と外で、日本語で「読む」「聞く」「話す」「書く」の活動をたくさん行います。積極的に授業に取り組んでください。

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=221281>

【連絡先(オフィスアワー・研究室・Eメールアドレス)】

⇒ 三隅 (国際センター, 088-656-7120, misumi@isc.tokushima-u.ac.jp) Mail
(オフィスアワー: 水曜日9:30~ 12:00)

【備考】 内容は、H17 のカリキュラム「日本語 2」

Japanese Language

Japanese Language 8

(留(留))

Tomoko Gehrtz- Misumi · PROFESSOR / INTERNATIONAL CENTER

1 unit 後期 火 7・8

(平成 19 年度以前の授業科目: 『日本語』) (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目: 『日本語 (2)』)

Target 映画やテレビドラマの日本語を使って、社会人として必要な日本語の知識と能力を習得する。多文化理解の視点についても検証する。

Outline 日本における男女の役割、期待される行動や表現を考える。特に、漫画、映画、歌、CM 等のサブカルチャーを取り上げ「ジェンダー＝性」に対する考えを考察する。これらの生素材を日本語教材として「読む」「聞く」「話す」「書く」の力を伸ばす。

Keyword ジェンダー、メディア、サブカルチャー、プレゼンテーション

Fundamental Lecture 〔先行科目〕

Relational Lecture 〔関連科目〕

Goal

1. 大学で必要な読解能力を高め、語彙を増やす。
2. 様々な素材から日本語で情報を得る。
3. 自分の意見をまとめ、発表する力をつける。
4. 人の前でプレゼンテーションをする能力を伸ばす。

Schedule

1. 自己紹介授業の概要について
2. ジェンダー論
3. 社会の中での男と女
4. 結婚と性別役割
5. 恋愛と結婚
6. 漫画の中のジェンダー①
7. 漫画の中のジェンダー②
8. 漫画の中のジェンダー③
9. ドラマや映画のジェンダー①
10. ドラマや映画のジェンダー②
11. ドラマや映画のジェンダー③
12. ドラマや映画のジェンダー④
13. 雑誌や広告のジェンダー①
14. 雑誌や広告のジェンダー②
15. 自分で見つける日本社会のジェンダー調査報告会

16. まとめ総括授業

Textbook 無

Reference 適宜プリント等の資料を配布します。

Evaluation Criteria 授業への取り組み、プレゼンテーションやマニュアル作りなどの課題をもとに、総合的に評価する。

Re-evaluation 無

Message 10 月時点で、受講生の日本語レベルに応じて内容を変更することがあります。教室と外で、日本語で「読む」「聞く」「話す」「書く」の活動をたくさん行います。積極的に授業に取り組んでください。

Contents <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=221281>

Contact (Office-Hour, Room, E-mail)

⇒ Gehrtz- Misumi (International center, +81-88-656-7120, misumi@isc.tokushima-u.ac.jp) MAIL (Office Hour: 水曜日9:30~ 12:00)

Note 内容は、H17 のカリキュラム「日本語 2」